

令和4年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 白江学園
熊野幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、並びに関係者の皆様のお力添えをいただいて、学校関係者評価を実施いたしました。本年度の学校法人全体での重点目標を「身近な人と親しみ、人と関わる力を養う」と設定し、その目標を達成するために、学年ごとで具体的な目標を設定し、学校評価に取り組みました。

重点目標以外にも、何点かの目標を設定し、取組みましたので、その取組みを本シートに纏め、公表いたします。

I. 教育目標

教育のモットー

熊野幼稚園は、子どもたちの明るい未来を築きます。

教育目標と理想

- ・「すこやかな健康」
- ・「ゆたかな情操」
- ・「生き生きとした自主性」
- ・「すぐれた知性」

その人の一生を決定する、大きな要素となる「すこやかな健康」「ゆたかな情操」「生き生きとした自主性」そして「すぐれた知性」を自然に、しっかりと子ども一人ひとりの内に育むことを目的とし、将来どんなことがあっても自分で考え、正しく判断し、乗り越えていく、健やかだからだとこころを育てることを理想とする。

II. 今年度の重点目標

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する力を養う。

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1	【年長】 豊かな言葉や表現を身に付ける	A 絵本や紙芝居回数を増やしたり、もじあそびやファースト教材の時に子ども達からいろいろな言葉が出るように声かけをした。日常生活の会話時から不適切な言葉が聞こえたら注意をした。日常的な保育の中でも保育者が見本となるような言葉と表現を意識し、子どもたちの普段の生活から取り入れができるように働きかけていく。
2	『言葉』 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する力を養う	B 日常生活のなかで、子ども達が自分の考え方や気持ちを話せるよう、問い合わせる形で接している。また子ども同士のコミュニケーションも円滑にできるように支援している。子ども同士のトラブル時においては保育者がどこまで介入するかを適切に判断しながら立ち回る必要があると感じている。
3	【年少】 絵本や物語などに親しみを持つ	A 1日1冊を目標とし、子どもの反応が良いところなどを把握しながら、読み聞かせることに時間をかけた。作品展にも反映されるなど、非常に有意義な取り組みができたと感じている。絵本で得た言葉や表現を子ども達が楽しんで発信できるような支援をしていく。

**令和4年度「学校評価」
結果公表シート**

学校法人 白江学園
熊野幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	各項目の取り組み内容について	園として業務効率面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施したか	B 色々な物への名前を手書きではなく、シールにすることによって作業効率は上がっている。打ち合わせのスタート・内容に工夫をして、生産性の高い会議にする必要がある。時間配分や役割分担の振り分け、指示出し、連携に関してはまだまだ課題があると感じている。
5		園として安全・衛生面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施したか	A 保育室内や階段など子どもの目線の高さに角が多く、頭をぶつけることが時々見受けられるので、角にクッション性のあるものを巻くなどをして、けがを未然に防ぐ環境づくりを行った。コロナウィルスの状況に対応しながら、その場その状況に適切な対応を実施していく。

【評価の基準】

- | |
|---------------------|
| A 十分達成されている |
| B 達成されている |
| C 取組まれているが、成果が十分でない |
| D 取り組みが不十分である |

IV. 今後取り組むべき課題

1 業務効率化	個人に仕事が偏らないことや、勤務時間内の業務終了、他人へのフォローができる体制を作る。
2 安全・衛生面の検討	アフターコロナへの対応と、ケガへの安全体制を強化する。

V. 学校関係者の評価

- ・アフターコロナによって安全・衛生管理をどのように変化していくのかは今年度の課題ではないかと思います。
 - ・本年度の評価結果を見て分かる通り、子どもが本に触れる機会を多くしたり、気持ちや考えを表現できるように保育者が支援している部分は非常に評価できる部分だと思います。
 - ・これからも保護者・地域から愛される熊野幼稚園を支援したいと考えております。

令和4年度 熊野幼稚園
学校関係者評価委員名簿

立場・役職等	氏名	人数
顧問コンサルタント	石田 竜佑	1
顧問税理士	井上 基	1
中浜幼稚園(姉妹園) 教職員	追分 啓江	1
評価委員合計		3 名